

令和 7 年度定時評議員会 議事録

開催日時：令和 7 年（2025 年）5 月 25 日（日）13:45～14:30

開催場所：YR イベントホール（池袋駅西口）

開会の辞

定刻に司会者（戸田理事）より令和 7 年度定時評議員会の開催が宣言された。

司会者より配付資料の訂正箇所について報告された。（別紙）

参加者全員で校歌を唱和し、その後に議案審議に進行した。

定足数の確認

令和 7 年度の評議員総数は開催案内送付時 332 名（連絡先不明者 1 名）。いずみ会規約第 13 条に則り、定足数は 111 名となった。参加者詳細は下記の通り。

- 会場出席者：49 名
- 委任状提出者（オンライン参加者含む）：93 名

従って定足数 111 名に対し出席者 142 名であり、本評議員会が適切かつ正式に成立したことを高岡理事から報告された。

※参考

- 欠席のみ記載者：14 名
- 未返信者：177 名（全体の 53%）

会長挨拶

本日はお忙しいところご足労いただき感謝申し上げます。今年はいずみ会発足 80 周年という記念すべき年であるが、同時に「昭和 100 年」の年でもあり、これまでの 80 年の歴史を未来へつないでいけるような活動をしていきたい。時代の流れ、世の中の流れともに変化が激しい昨今であるが、少しでもこの変化に機敏に対応して、会員相互の親睦を深め、母校支援を通じていずみ会の発展に寄与していきたい。一朝一夕にできることは少ないが、理事全員が日々目標に向かってできる限りのことを行っている。その中で本日上程した 3 件の議案に対して、各評議員の方の建設的なご意見、ご審議をお願いしたい。

来賓紹介

司会者により本評議員会に欠席ではあるが学校関係者（下記）が紹介され、学校代表として浜田先生から頂いた挨拶文を司会者が代読した。その要約は下記の通り。

- 大泉高校・附属中学校校長、原田能成先生
- 高校副校長 浜田浩和先生、附属中学校福校長 小川和寛先生

日頃より本校の教育活動への支援に感謝申し上げます。今年は附属中が開校 16 年目、高校は開校 85

年目の年であり、高校からの生徒募集停止は4年目となった。今年は高校3年3クラスの計114名が卒業し、進学先は東京大学へ8名を始めとして大勢が難関大学に入学し、今まで以上の成果を上げられた。今年の高校生1年生は4クラスで、令和9年に全学年が4クラスとなり中高一貫校の形が完成する。教員は11名が異動し、13名が転入した。学校では充実した教育活動を実施しており、先日は2泊3日で福島に研修旅行を実施した（災害伝承館の訪問など）。また、体育祭へは1,353名の来場があり、無事に実施することができた。今後は語学研修として、中学3年生がニュージーランド、高校1年生がオーストラリアに赴くなど、イベントが盛りだくさんである。また、文化祭のいずみ会出展や、20歳を祝う集いなど、今後とも学校へのご支援をお願いします。

議長選出

議長：石川文武氏（15期）

議事録署名人：逆瀬川浩一氏（24期）、河又真弓氏（32期）

第1号議案：令和6年度事業報告及び決算報告承認の件

資料：令和6年度事業報告及び令和6年度決算報告、令和6年度監査報告書

山川事務局長、山本会計部長より資料に沿って説明された。その後、花澤監査役より令和6年度の会計・帳簿の正確性、業務執行の妥当性、事業内容の適正性、職務執行状況について問題ない旨が報告された。

監査報告後に議長より質疑を促したが、質疑事項は無く、第1号議案は賛成多数で可決された。

第2号議案：令和7年度事業計画案及び予算案承認の件

資料：令和7年度事業計画（案）及び令和7年度予算（案）

山川事務局長、山本会計部長より、資料に沿って説明され、下記の質疑及び回答があった。

質問	回答
茂木氏（23期） いずみ会室について、前回評議会の時に話題になったと記憶している。生徒数の減少に伴い、大泉高校の空教室・部屋を借りる事は出来ないのか？	山川事務局長 いずみ会で利用できる部屋としては資料室の提供を受けているが、休日（土曜日）の使用についてはセキュリティの問題で自由に使いたいときに使用することができない。また、学校へ登録している関係者の学内出入りできるが、一般会員の方の学内出入りは難しいと思料（不特定多数の会員は学内使用はできない）。
佐藤氏（25期） グリーンプロジェクトについて、植樹の本数、規模はどの程度を想定しているか？	荒井会長 学校から植樹について言及があり、ソメイヨシノは樹齢が経つと倒木の危険性があり、去年は3本伐採している。今年も更に追加で伐採予定との事。学校の要望としては、伐採した後に替わりの樹を植樹してほしいとの事だが、具体的な本数や

	今後の進め方についてはまだ調整中。このプロジェクトは単年で解決する課題ではなく、複数年かけていく課題である。尚、植樹はソメイヨシノに限定したものではない。
寺田氏（23期） 支出項目の中でホームページ改修金額ウェイトが大きく占めていると思料。一方で改革する場合 90 万円で収まるか懸念。費用はもう少し大きくなると思料するが、見積等とった上の金額か？	山川事務局長 ホームページの改修については見積をとっている。見積もりを取っている企業は長期的なメンテナンス可能な大手会社ではなく、いずみ会会員が経営している中小の会社にお問い合わせする予定なので改修金額が抑えられている。システム分野の開発進歩は早く、長期保証を前提とした開発は期待できないと判断し、毎年見直す方が現実的と考える。今回の改修も抜本的な改修を実施し、これまでと見栄えの違うものを提示できると期待する。

以上の質疑をもって、第 2 号議案は賛成多数で可決された。

第 3 号議案：「いずみ会規約」改正の件

資料：いずみ会規約改正の件

山川事務局長より資料に沿って説明され、下記の質疑及び回答があった。

質問	回答
村上氏（15期） 個人情報の取り扱いの面で、退会について明記することは理解。会員が退会した場合、名簿にはどのような記載になるか？	山川事務局長 情報はすべて削除となり、名簿そのものの表記をなくす。本人から、名前を残してもよいという申し出があった場合は残す。基本的に記載内容は本人の意思によって決定する。
佐久間氏（19期） 今後の情報管理については理事会で徹底していただければと思う。一方で会員 ID まで削除されるのは寂しい印象である。会員 ID は残し、退会履歴を残すのは如何か？ また、一度退会した会員がもう一度入会し直す等のケースについても考えて欲しい。	石川議長 本件については内規レベルで決める事ができるので、今後は理事会の中で議論を進めていただきたい。
	真柳理事（コメント） これまでの卒業生は自動的にいずみ会に入会していたが、近年は学校・保護者から、入会の意思が本人にあるか確認するように求められている（保護者の同意を得る必要がある）。現時点で入会しない卒業生も数人いるため、それに伴い現会員の退会についても議論すべき、という背景。

以上の質疑をもって、第3号議案は賛成多数で可決された。

報告事項：いずみ会創立80周年記念行事について

真柳理事（総務・企画部長）サポートのもとに、本記念行事の実行委員である「3・4の会」のメンバーが紹介され、その代表に笠原氏（13期）が選出された旨の報告があった。今後は各期評議員の方の記念行事への参加及びご協力をお願いした。

その他

いずみ会メールアドレスの変更について議長より質問あり。山川事務局長より、メールアドレスは”izumikai@v7.com”より”info-123@izumikai.com”に変更され、本年9月末まで並行で使用できる旨、また、詳細はホームページ等を確認いただきたい旨の回答があった。

閉会の辞

議論は慎重に進行できたと議長からの講評を受けた。司会者より本評議員会の閉会が宣言された。

以上

議事録署名 議長 石川 文武 ㊟
令和 7年 7月 8日

評議員 逆瀬川 浩一 ㊟
令和 7年 7月 10日

評議員 河又 真弓 ㊟
令和 7年 7月 15日